

2011年3月15日の静岡県東部地震による富士山周辺域のb値の空間分布への影響

Spatial Variation of b-value around Mt. Fuji influenced by the Eastern Shizuoka Earthquake of 15 March 2011

*村越 匠¹、宮下 智成²

*Takumi Murakoshi¹, Tomonari Miyashita²

1. 防衛大学校、2. 航空自衛隊

1. National Defense Academy, 2. JASDF

2011年3月15日22時31分頃に富士山山頂から南西に約6kmの深さ15km付近においてMj6.4の2011年静岡県東部地震が発生した。富士山周辺におけるM6以上の地震は1931年9月16日のMj6.3の地震以降なかったため、2011年静岡県東部地震は富士山周辺における約80年ぶりのM6以上の地震であった。火山地域のマグマだまりなどの地下の不均質性やその時空間変化を調べる手法の一つに、G-R則のb値の空間分布を使った解析がある。富士山周辺域については、2001年から2009年までのb値の解析があるが（原田ほか、2010）、2011年静岡県東部地震の前後の影響については調べられていない。そのため、本研究では気象庁一元化震源データを用いたG-R則のb値の空間分布の解析により、2011年静岡県東部地震が発生したことによる富士山周辺域の地震活動への影響を調べた。その結果、2011年静岡県東部地震の直後でb値が大きく下がり、徐々に元のb値の値に戻ってきている傾向にあることがわかった。また、2011年静岡県東部地震の前後での特徴として、この領域内で南西から北東方向にb値が大きくなる空間パターンがあることがわかった。

キーワード：b値、富士山、2011年静岡県東部地震

Keywords: b-value, Mt. Fuji, 2011 Eastern Shizuoka Earthquake